

肝付町台風接近の記録



▲岩屋地区の土砂災害の様子

今年、台風第6号は、複雑な進路をとりながら九州の西海上を北上し、肝付町にも多大な被害をもたらしました。

国土交通省と気象庁の公表資料をもとに、台風第6号の気象状況を振り返るとともに、過去に肝付町に接近した台風について紹介します。

7月28日にフィリピンの東で発生した台風第6号は、8月2日から3日にかけて、大型で非常に強い勢力で沖縄地方にかなり接近。その後、9日は九州の西の海上を北に進み、九州各地に多大な被害をもたらしました。

肝付町でも、大浦の町道を倒木や落石がふさぎ、一時孤立状態になり、後田の岩屋地区では大規模な土砂災害が発生しました。

7月30日から8月10日までのアメダス総降水量は、肝付前田で647.5ミリ、内之浦で485.5ミリです。この間、最も降水量の多いのは、台風が接近した8月8日から9日にかけてで、肝付前田で8日が174.5ミリ、9日が294.0ミリ、内之浦で8日が119.5ミリ、9日が203.5ミリでした。24時間降水量の多い9日の降水量データが右の表です。下表は、8日と9日の風の状況です。

最大風速は33m/s未満で台風の強さは表現されないレベルでしたが、1時間に20ミリ以上の強い雨が降り続くなか30ミリ以上の激しい雨が降る時間帯もあり、1日の降水量が200ミリを超えていましたので、特に雨への警戒が必要な台風だったと言えます。

肝付前田	最大風速 (m/s)	瞬間最大風速 (m/s)
8日	14.2	28.7
9日	12.3	27.1

内之浦	最大風速 (m/s)	瞬間最大風速 (m/s)
8日	13.0	24.3
9日	13.2	28.8

[8月9日の降水量]		
時	肝付前田 降水量 (mm)	内之浦 降水量 (mm)
1	6.0	4.0
2	6.0	2.0
3	6.0	1.5
4	12.0	4.5
5	17.5	12.5
6	21.0	10.5
7	16.0	12.5
8	13.5	2.0
9	20.0	0.5
10	14.0	13.0
11	11.5	10.5
12	4.0	11.5
13	7.5	4.5
14	6.5	4.0
15	16.0	7.5
16	23.0	25.5
17	12.0	11.5
18	35.0	23.0
19	31.5	36.0
20	12.0	4.5
21	2.0	0.5
22	0.5	1.5
23	0.5	0.0
24	0.0	0.0
計	294.0	203.5

肝付町に接近した過去の台風

気象庁の定める「台風に関する用語」によると、「ある地点への台風の接近とは、台風の中心が、その地点から300km以内に入ること。」とあります。

そこで、2001年（平成13年）以降、肝付町に接近した過去の台風について調べてみました。

西暦	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	計
接近数	2	5	4	8	1	2	2	2	1	0	4	4	1	5	3	3	4	6	3	2	2	3	67

2001年から2022年までの22年間で、肝付町（役場庁舎）からおおよそ300km以内に接近した台風は、67個ありました。年間平均で3.05個です。このなかで、24時間降水量が100mm以上を記録し、強風域又は暴風域に入った台風は38個（年間平均1.73個）ありました。さらに、24時間降水量200mm以上又は48時間降水量300mm以上を記録した台風は8個（年間平均0.36個）ありました。

今年も10月を過ぎ、出水期や台風の季節も終わろうとしています。全国では過去に11月、12月にも接近・上陸した台風があるようです。異常気象という言葉もたびたび聞かれるようになり、今後も集中豪雨や洪水等が発生する可能性もありますので、災害の少ない季節に防災知識を深め、防災用品や非常食などを備えておく（又はチェックする）ことが大切です。

